

都市みらい通信

IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成15年1月

(財)都市みらい推進機構

□まちづくり情報

・秋田駅周辺地区の整備について

□トピックス

・「新たな発想による土地活用のアイデア募集」の作品提出受付のお知らせ

□AKIBA FUTURE FORUM

IT立国実現を牽引する「新生 秋葉原」への期待 開催の御案内

□都市みらいカレンダー

□海外出張便り

平成15年1月31日

□まちづくり情報

秋田駅周辺地区の整備については、公民が一体となり県都にふさわしい魅力ある都市空間の創出を図るために、様々な事業を進めており、平成11年度に実施された（仮称）拠点センター事業企画提案競技で選定された民間グループが中心となり、平成16年オープンに向けて事業が進められています。

なお、当財団も過年度において駅周辺地区整備の調査につきまして、お手伝いさせていただいております。

(開発調査部 安藤)

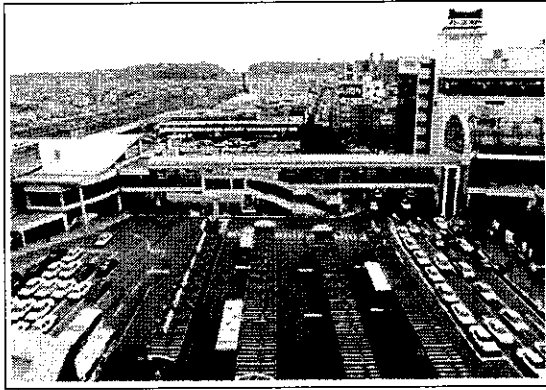
秋田駅周辺地区の整備について

秋田駅周辺地区では、県都の玄関口にふさわしい街並みや新たな都市機能の集積を進めるために、人工地盤による歩行者ネットワークの形成や地域交流センターの建設など、民間と行政が一体となって、魅力ある都心空間の創出を図る様々な事業を進めております。

秋田新幹線の開業に合わせ実施したJR秋田駅の橋上化事業（橋上駅舎、秋田駅東西連絡自由通路、駅ビルの建設）によりJR西口の街並みが大きく変わったほか、秋田駅西口広場人工地盤建設事業により、駅東口から西口商業地域に至る歩行者動線の円滑化を図りました。

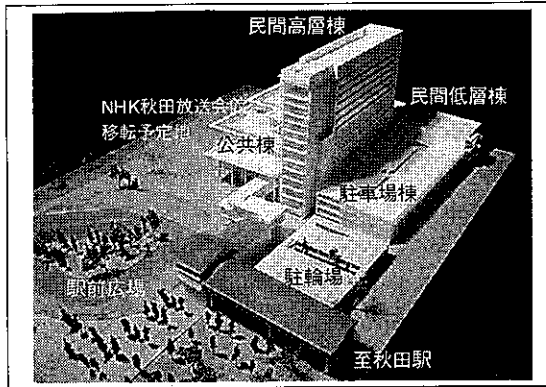
現在地区内では、これまで土地利用が遅れ、未利用地や暫定利用地が多く存在していた東口周辺の基盤整備（秋田駅東拠点地区土地整理事業）が急ピッチで行われているほか、秋田駅東西連絡自由通路の東口正面に位置する約1haの東口駅前広場、市民交流施設として（仮称）拠点センター（地域交流センター）、拠点センターと秋田駅東西連絡自由通路を結ぶ人工地盤、駐輪場などの整備についても、平成16年度中に完了する予定で事業が進められております。

【秋田駅西口】



■秋田駅西口の整備は、平成6年度～9年度の橋上化事業と11年度～12年度の西口広場人工地盤建設事業でほぼ完了しました。人工地盤の先には、秋田駅西口活性化事業協同組合により大屋根（幅13m、延長166m）が整備され、駅前商業地区内の歩行者動線を一層快適なものにしています。

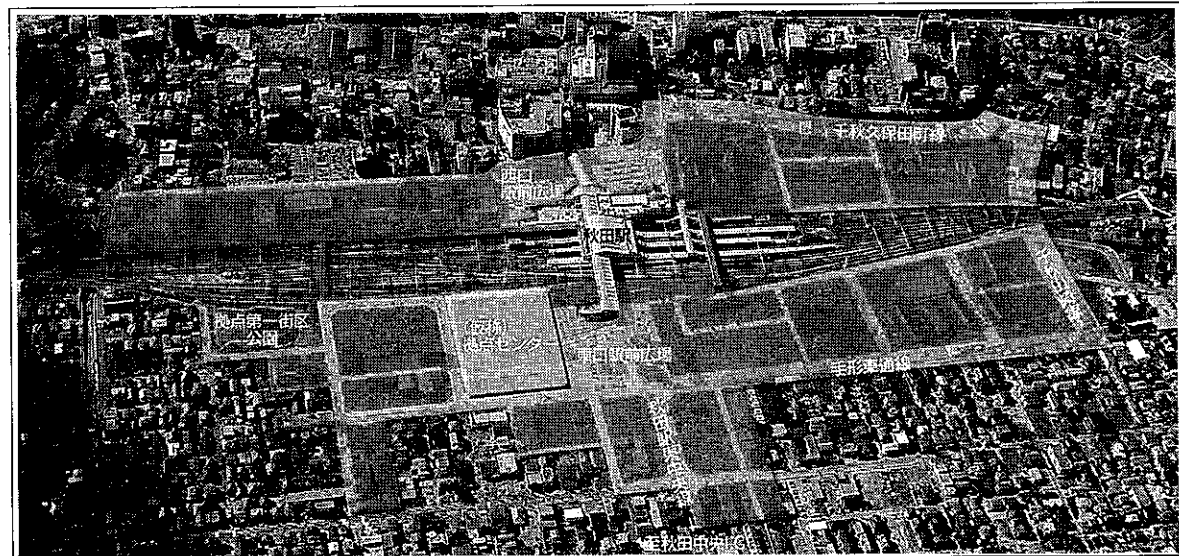
【秋田駅東口】



■平成11年度に実施した事業企画提案競技で選定された民間グループが中心となり、秋田駅東口に延べ約36,000㎡の官民複合施設を建設中です。

公共施設は、イベントを通じて新たな市民交流を生み出し、賑わいを形成する交流機能や市民活動を支援、育成していく機能が特徴です。

【秋田駅周辺地区まちづくり総合支援事業エリア】



(寄稿：秋田市まちづくり整備室)

AKIBA FUTURE FORUM
IT立国実現を牽引する「新生 秋葉原」への期待 開催の御案内

秋葉原駅前の再開発プロジェクトは、全国各地で推進されている新産業育成拠点とのネットワークを視野に入れた新都市拠点開発です。都市の活性化は産業の活性化によるところが大であり、産業政策と都市基盤整備は車の両輪の関係になってきています。

秋葉原ITセンターは、秋葉原のIT拠点化を推進するのみならず、産・学・官連携による全国新産業育成拠点ネットワークのハブ拠点としての機能を期待されています。

このように秋葉原駅前再開発プロジェクトには、産・学・官の連携が重要事項でありながら、現状では緒についたばかりであり、世間の認識も十分とは言えません。

このような状況下において、この秋葉原再開発プロジェクトに構想段階から参画してきた当財団では、秋葉原が高い志を持った新たな街づくりに挑戦していることを世に示し、全国新産業育成拠点ネットワーク形成の起爆剤となることを期待して、本フォーラムの開催を企画いたしました。

日 時 平成15年2月17日（月）15：00開場 16：00～20：00
場 所 経団連会館（東京都千代田区大手町1-9-4）
一部 14階 経団連ホール（基調講演・パネルディスカッション）
二部 12階 ダイヤモンドルーム（交流会）
定 員 450名（先着順締切り）
申込期限 平成15年2月10日（月）
会 費 一部 参加無料、二部 交流会参加費用 一人 5,000円

プログラム

1. 主催者挨拶
2. 基調講演

「世界的IT拠点「儲かる秋葉原」を目指して」

東京都 参与・東海大学 教授

唐津 一 氏

3. パネルディスカッション

「IT立国実現を牽引する「新生秋葉原」への期待」

コーディネーター 株式会社日経BP 常務取締役

太田 民夫 氏

パネラー 筑波大学 教授

大村 謙二郎 氏

総合科学技術会議 産学官連携プロジェクト座長

日本電気株式会社 会長

佐々木 元 氏

慶應義塾大学大学院 教授

妹尾 堅一郎 氏

産業技術総合研究所 理事

吉海 正憲 氏

4. 交流会

申 込 当財団ホームページの最新情報をご覧ください。また、次のURLより直接申込も可能です。

（URL：<http://www.akiba-forum.jp>）

（担当：企画調整部長 篠原）

□トピックス

「新たな発想による土地活用のアイデア募集」の作品提出受付のお知らせ

1月20日（月）より、上記アイデア募集（第1回低・未利用地の有効活用提案競技）の作品提出受付が始まりました。

財団内のコンペ事務局宛てお送りいただくか、ご持参下さい。

作品の提出期限は2月14日（金） 必着です。

グループで参加される方は、応募図書提出用紙にグループ名の記入をお忘れなく。

あなたの魅力ある提案をお待ちしております！

財団法人 都市みらい推進機構内「低・未利用地の有効活用提案協議」事務局

担当者：開発調査部 清水、企画調整部 西尾

E-mail：t-compe@toshimirai.co.jp

都市みらいカレンダー

*印のある項目については、他ページに解説があります。

財団

月	日	項 目	備 考
1	9	モデル調査（豊中市）会議	第1回
	9	那覇市かぶ川周辺地区・新栄通街区行動計画策定検討委員会	第1回
	10	都市再生研究会「民間まちづくり促進方策検討WG」	
	15	モデル調査（延岡市）会議	第1回
	15	都市再生研究会「機能導入方策検討WG」	
	16	都市再生研究会「特定地域事業化検討WG」	
	17	近畿圏リノベーション研究会	第1回
	20	エリアマネジメント研究会	第1回
	21	都市再生研究会「都市像検討WG」	
	23	那覇市栄町地区土地利用転換推進計画策定検討委員会	第1回
	28	都市再生研究会 大阪部会	
	30	品川新拠点研究会（行政部会）	第2回
	31	ITを活用した大都市再編推進調査委員会	第2回
	31	都市再生研究会 幹事会	
31	都市基盤整備公団「土地の有効利用に関する説明会」		
2	4	鹿児島駅周辺整備協議会	第2回
	12	民間都市開発促進研究会	第2回
	17	*秋葉原フォーラム（AKIBA FUTURE FORUM）	
	27	京浜臨海都市再生予定地域調査委員会	第2回

インテリジェントシティ整備推進協議会

1	15	横浜市におけるIT産業集積研究会 WG会議	第4回
	22	高崎IT都市整備研究会 幹事会インテリ協委員会議	第3回
2	4	継続セミナー「都市再生の為にキラメガソフト」	第5回
	21	リナックスカフェ視察研究会（まち協と共催）	
	26	横浜市におけるIT産業集積研究会 WG会議	第5回
	末	「インテリジェントシティ57号」発行	

地方の拠点まちづくり協議会

1	10	研究事例公募書類発送（締切り2月17日）	
	28	あり方研 高崎現地ワーキング（高崎市役所）	
	29	あり方研 上越現地ワーキング（上越市役所）	
2	4	継続セミナー「都市再生の為にキラメガソフト」	第5回
	21	リナックスカフェ視察研究会（インテリ協と共催）	

1	20 23 28 30	調査研究部会 新テーマ事前説明会 都市交通施設分科会幹事会 企画運営委員会 中心市街地と地下街のあり方分科会 WG 3	
2	4 5 5～6 12 13 19	大阪分科会 UIT第14回技術研究会発表会 (中心市街地と地下街のあり方分科会・都市交通施設分科会から2編) UIT第9回交流展示会(事業部会) 中心市街地と地下街のあり方分科会 都市交通施設分科会 調査研究部会 新テーマコアメンバー会議	第12回 第22回 第7回

海外出張便り

○心洗われるリバーウォーク (米国の都市再開発事情視察に参加して)

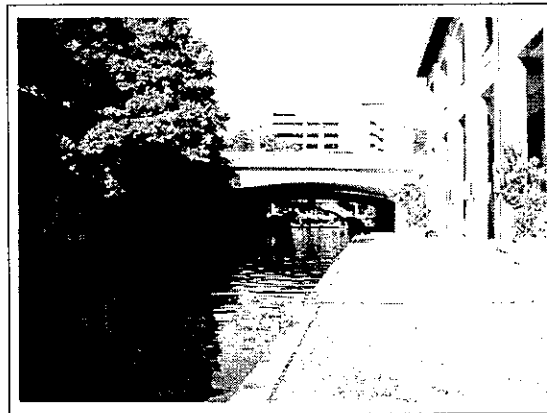
10月中旬から米国の都市再開発事情の視察に、「シカゴ、セントルイス、サンアントニオ、ダラス」の4都市をまわってきました。その中でも印象に残った都市テキサス州サンアントニオの概要を報告します。

この都市は18世紀初頭に宣教師により開かれ、スペイン領から始まりメキシコ領になり南北戦争でメキシコから独立し、アメリカの州としての成り立ち、湧き水と石油の町として発展し人口は約100万人で、全米10大都市の一つに数えられています。

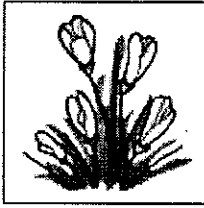
1960年代から、衰退した都心部への再開発事業が議論され、1968年の万国博覧会の開催を契機に、コンベンションセンターの建設、それに伴うホテル需要の増加等がきっかけになり、都心の再開発が動き出した。又、ダウンタウンを流れるサンアントニオ河は河沿いが歩行者空間となっており「リバーウォーク」と呼ばれる施設ができている。全長4kmに及ぶ散策路は馬蹄型をしていて、ゆっくりと周辺の景色を眺めながら散策するには最高の所である。リバーセンターを中心にしたリバーウォークが観光客を引きつける大きな所以である。

この時期は気候も涼しくなっているが、真夏には木陰に涼を求めて水面に戯れる水鳥などをのんびりと眺めていたら最高であろう。

散策路にはレストランや物販店が軒を連ねる場所もあり、独特な雰囲気を感じ出している。夕暮れ時になると、ネオンが灯りさらに魅力アップしたリバーウォークが出現する。今夜の夕飯を考えながらゆっくりと2時間ほどの散策は、視察旅行半ばにしてリフレッシュするには最高であった。



(担当：企画調整部 浜田)



新年おめでとうございます。

2002年を振り返りますと、アメリカがいつイラクを攻撃するか、北朝鮮がどうするか、大型倒産が連発するのではないか、小泉内閣の構造改革の成果が見えてこない等、閉塞感に覆われた1年であったと思います。

2003年は、前年のこれらの課題がそのまま引き継がれ、更に新しい問題も生じることが予想される多事多難な年となりそうです。

このような状況になると、一般の関心が自分の生活防衛に向かい、会社が倒産しないか、年金はどうなるか、テロや災害に遭遇しないか等、あらゆる不安に敏感となり、このことが更にデフレ不況を深刻化するのではないかと危惧します。

しかし、現在の閉塞感が社会構造の変化の前兆であり、新しい産業が生まれてくる環境と考えれば、必ずしも悲観することではなく、夜明け前が最も暗い状況と考えたい。

ここは腹を据えて、想定されるリスクに対しては最大限の準備をするとともに他方中期的な視点をもって、積極的に危機に立ち向かう必要があると思います。

都市みらいもこのような厳しい状況下ではありますが、まちづくりや都市再生等に積極的に取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

(専務理事 田口 仁)

発行
財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013
東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽 3階
TEL : 03 (5976) 5860
FAX : 03 (5976) 5858
kikaku@toshimirai.or.jp
<http://www.toshimirai.or.jp>